

# トタン屋根

## カラートタン



油性トタン塗料を使用した塗り替え

雪や雨、さびに強いスタンダードタイプ

アクリル樹脂系の速乾・高耐久トタン用ペイント

ルーフコート

油性



スーパートタン用

油性



### スケジュールを決めましょう 20㎡のトタンの塗り替え場合

工程	使用材料	塗布量(㎡/㎡)	塗り重ね可能時間(夏期)	理想の人数と時間
1 目	下地処理		—	2人 30分
	マスキング	マスキングテープ	—	1人 30分
	ひろい塗り	ルーフコート		1日以上 2人 30分
2 目	上塗り1回	ルーフコート	0.05	4時間以上 2人 60分
	上塗り2回	ルーフコート	0.05	2人 60分
3 目	あとしまつ(マスキングテープはがし等)			1人 10分

#### 作業人数の目安 2人



作業人数の目安とはその作業の難易度、作業性に相当する理想的な人数の目安です。例えば2人で行う作業を3人で行った場合、より効率的に進められるといえます。

#### <ルーフコート(油性トタン用)>の標準塗り面積 (1回塗りの場合)

容量	㎡	タタミ(枚)
0.7L	10~15	約7.5
1.6L	28~32	約18
7L	90~150	新しいトタン:約90 塗り替え:約70
14L	180~250	新しいトタン:約180 塗り替え:約140

#### <塗料と養生用品の必要量>

ルーフコートは通常1回塗りですが、

さらにきれいな仕上がりを目指すには2回塗り仕上げをおすすめします

トタン屋根を下塗り1回、上塗り1回する場合

塗装面積  
約20㎡

- ルーフコート(オーシャンブルー) 1.6L:2缶



- ペイントうすめ液 300ml:2本
- 油性塗料をうすめる以外にもハケの洗浄にも使います



- マスキングテープ 18m巻:1巻



- マスキングテープ 1100mm×25mm 巻き:1巻



床面の養生に使用

<トタン屋根の塗装には、トタン専用のペイントを選びましょう>  
トタン専用のペイントは、トタン表面の亜鉛に密着がよく、さらにトタンの熱膨張にも追従する特性を持っています。トタン専用ではない油性の鉄部用ペイントは、亜鉛メッキとの付着性が悪く早期にはがれることがあります。

#### <スーパートタン用>の標準塗り面積 (1回塗りの場合)

容量	㎡	タタミ(枚)
7L	60~75	約40
14L	120~150	約86

### 使用する道具

☑ 買い忘れがないかチェックを! 塗装用具は作業する人数分用意しましょう。作業効率もあがります。

#### 塗装用具

トタン用か万能用をお選びください

ローラーバケは毛の短いタイプをお選びください

広い面を効率的に塗れます。仕上りもきれいです



ハケ(本)

つぎ柄

かくはん棒

バケツ・塗皿

\*ローラーバケやコテバケに取り付けば腰をかかずに作業でき、軒先の塗装の際の安全が確保しやすくなります。

\*ローラーバケやコテバケを使用する場合は塗り皿やバケツが必要です

#### 養生

塗料のはみ出しや汚れを防ぐために使います。



マスキングテープ ( )巻き

マスキングテープとポリシートが一体となっており広範囲を保護できます

[新聞紙]



マスキングテープ ( )巻き



ポリシート (枚)

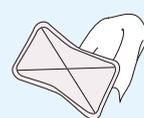
#### 清掃・補修

さびや旧塗膜の除去に使用します。

表面が平らな面をサンドペーパーがけする場合はサンディングブロックが便利です



サンドペーパー



雑巾・ウエス

皮スキ

ワイヤーブラシ



手袋(双)

## 安全の確保

### ●はしごを固定しましょう

はしごは足場がしっかりしているところに設置し、はしごをかける屋根の箇所にも気を配りましょう。また人に支えてもらったり、ロープで固定するなど細心の注意をはらってください。

### ●安全帯、ヘルメットを装着しましょう

### ●ゴム底のすべりにくい靴で作業しましょう

### ●風の強い日は避けましょう



塗装は気温の低い日避け、好天の日に行ってください。



雨の日(雨が降りそうな時)や気温5℃以下、湿度80%以上の時の塗装は避けてください。

## ① 下地処理 まずは表面の状態を確かめましょう!

### ●汚れの除去...



表面の泥や苔などの汚れやチョーキング\*1はデッキブラシ等で水洗いをして除去してください。特にかわら棒付近は汚れがたまりやすいので注意してください。乾燥が必要なので水洗いは塗装の前日までに予め済ませておきましょう。



油汚れがある場合は、ペイントうすめ液で拭き取ってください。

**危険** 水洗いをするとすべりやすくなりますので注意してください。また塗る面は充分乾燥させてください。

### \*1 チョーキングとは?



塗膜が古くなり、粉っぽくなる事をチョーキングと言います。手でこすってみて、粉が付くか確かめてください。

### ●古い塗膜が浮き上がっている場合の除去...



はがれて浮いている塗膜は皮スキやワイヤーブラシで削り落とし、#240程度のサンドペーパーで塗装面を平滑にしてください。しっかり密着している塗膜は、そのまま残してもOKです。

### ●さびの除去...



さびが発生している箇所は、ワイヤーブラシや#180程度のサンドペーパー(布タイプがおすすめ)で取り除いてください。

塗膜やさびを落とした後は...

### ひろい塗り をしましょう

さびを除去した箇所は何日も放置すると目に見えないさびが生じます。さびを落とした箇所、塗膜をはがした箇所は、できるだけ早く<ルーフコート(油性トタン用)>をハケでひろい塗り(除去した部分だけを塗る)をしておきましょう。



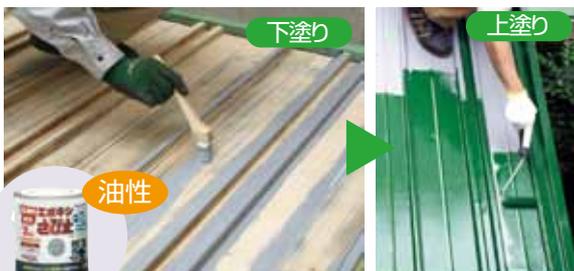
\*ひろい塗りをした後は、上塗り塗装まで1日(冬期は2日)以上、間隔をあけてください。

●穴やすき間がある場合...塗装ができるシーリング材で予め埋めるか、塗装ができる補修テープを貼っておきましょう。

●釘が抜け落ちている場合...垂鉛メッキやステンレス製の釘を用い位置をずらして打ち直しましょう。

## ●より耐久性を持たせるには「エポキシさび止」で下塗りすることをおすすめします

ルーフコートだけでも十分に耐久性がありますが、より高い耐久性を持たせたい場合には、下塗りにエポキシさび止(油性)を塗ることをおすすめいたします。



<エポキシさび止>は、高性能エポキシ変性樹脂により、抜群の密着性と防錆性が特長のさび止めペイントです。

- 超速乾で上塗り可能時間3時間以上 当日中に上塗りが可能(冬期は6時間以上)
- 下地に影響を与えるような強い溶剤を使用していません

### 油性 トタン屋根の垂鉛メッキとの相性抜群 エポキシさび止

容量:0.7L・1.6L・3L  
塗り回数:1回 色:赤錆・グレー



エポキシさび止 ★下塗りする場合、必ずしも全面にさび止め塗料を塗る必要はありません。錆がひどい所だけを拾い塗りでも結構です。

## ② マスキング

塗りたくない部分や塗料が付着すると困る部分にはマスキングテープを貼ってください。マスキングテープを貼る時は、際の部分をしっかり押えてください。床面には、ビニルシート等を敷き保護すると塗装時の汚れが防げます。

\*マスキナーは、マスキングテープとビニルシートが一体になっており広範囲を保護できるので便利です。



## ③ 塗料をかき混ぜる／塗料をうすめる

### ● 塗料は中身をよくかき混ぜましょう

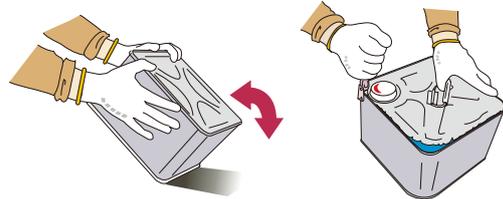
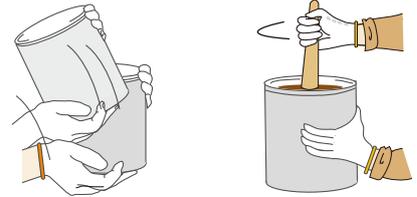
フタをあげる前に容器を逆さにして振り、フタに手を添えてマイナスドライバーであけます。フタをあけてからも底にドロっとした固まりがなくなるまでヘラなどでよくかき混ぜましょう。汚れることがありますので、新聞紙やビニルシートの上で行いましょう。

大缶<7L・14L>の場合は

大缶<7L・14L>も同様に容器を逆さにして振りますが、重たいので一辺を床面につけて支点とし前後に振ってください。

天面を缶切り等で開け、ヘラ等で底から充分にかき混ぜてください。

\*天面を開いた場合、残った塗料は密閉できる別の容器に移し保存してください。



\*重たいので取扱いには充分注意してください。

\*切り口で手を切らないように注意してください。

### ● ルーフコート(油性トタン用)は、うすめてからご使用ください



<テレピン油(ペイントうすめ液)> <合成ボイル油>

うすめた塗料は、保存ができなくなります。使う分だけ別の容器に小分けしてからうすめてください。

<テレピン油(ペイントうすめ液)>...塗料に対し10%程度(重量比)を混ぜます。

夏期は<合成ボイル油>も使用可能...塗料に対し10%程度(重量比)を混ぜます。

\*合成ボイル油を混ぜると耐久性が向上します。ただし乾燥が遅くなります。また合成ボイル油は油なので、用具の洗浄には使えません。

うすめ液を加えたら、充分にかき混ぜてください。

## ④ 塗る ひろい塗りした箇所が完全に乾いていることを確かめてから塗りましょう。



軒先

### ● 先に塗りにくい部分から塗りましょう

まずは、軒先や破風部分をハケで先に塗っておきましょう。はしごに乗ったまま作業しなければならぬ場合は危険なので塗料の容器や塗り皿を手で持たず、屋根や地面に置いて行うなどして身の安全を確保した上で行きましょう。

★ハケはトタン用ハケやスジカイバケを使ってください。



棟

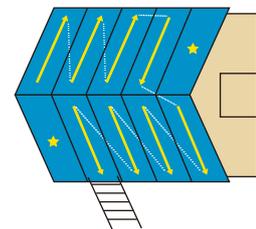


次に塗りにくい部分凹凸部分(かわら棒や棟の部分など)を塗っていきましょう。

★かわら棒の上には乗らないでください。

### 安全を考慮して、塗る順番を確認しましょう

★ 印を最初に塗装しておき、はしごをかけたところを最後に塗ってください。



### ★ ペイント豆知識



厚塗りはタレやシワ、乾燥不良の原因になります。容器のフチや塗り皿で軽くしごき、のばすように塗ってください。



### ●広い部分はコテバケやローラーバケで塗りましょう

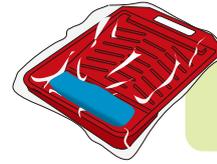
コテバケやローラーバケで塗るときれいに効率的に塗ることができます。危険がないようにつぎ柄を装着して無理のない姿勢で塗装しましょう。かわら棒の間をひとつの単位と考え、棟から軒先に向かって塗るのがコツです。



### <つぎ柄を使いましょう>

つぎ柄はローラーバケやコテバケにネジ込んで装着できます。

### ★ペイント豆知識



塗り皿にビニル袋をかぶせて使用すると後片付けが楽になります。

1回塗りでも充分きれいに仕上がりますが...

## さらにきれいな仕上りを目指すには2回塗り仕上げをおすすめします

「ルーフコート」は通常1回塗りですが、初めて塗る方や慣れていない方は塗りムラ(厚い・うすい)が出てしまうことがあります。

### 2回塗り仕上げをおすすめする理由

#### 1.仕上りがより美しくなる

1回で仕上げるよりも、うすく塗り重ねた方が均一に塗れ、塗りムラが出にくく美しく仕上がります。またタレなども防ぎやすくなります。

#### 2.さび止め効果が持続する

2回塗りで仕上げた方が均一な塗膜を形成するため、さび止め効果や耐久性も上がります。



### 1回目と2回目の間隔は十分に

#### <ルーフコートの場合>



夏期:1日以上  
冬期:2日以上

●塗装間隔は製品の表示にある乾燥時間とは異なります

1度に2回塗り重ねることが「2回塗り」ではありません。1回目の塗装が終わって充分乾燥させてから2回目を塗ることを「2回塗り」といいます。

## ⑤ あとしまつ

マスキングテープは、乾く前にはがしてください。床面に敷いた新聞紙等は汚れている面を内側にして丸めて捨てると周りを汚さずに処理できます。



### ●用具の手入れ

ハケは、含んでいる塗料を新聞紙等で拭き取った後、ペイントうすめ液で洗ってください。洗い終わったらハケに含んでいるペイントうすめ液をよく拭き取り、陰干ししてください。塗り皿も同様に新聞紙等で拭き取り、最後にペイントうすめ液で洗ってください。用具の手入れは乾燥する前に行ってください。乾燥するとハケの毛が固まって使用できなくなってしまうです。

### <自然発火の注意と防止>

<ルーフコート>は、溶剤が揮発した後に空気中の酸素と化学反応を起こして硬化するタイプの塗料です。塗料を拭き取ったり、用具の洗浄などで使った塗料の付着したウエス(布)や古新聞を放置しておきますと、ごく稀に自然発火をおこす恐れがあります(塗料自体が自然発火することはありません)。使用したウエス(布)や古新聞は必ず、放置せずに水に浸して処理してください。

## ■完成(イメージ)



塗装前



塗装後

## アトムサポート株式会社

本社 〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6  
URL <http://www.atom-paint.co.jp>

お客様相談室

TEL 03-3969-7866

ホームページ  
はこちらから